

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH14

作成：渋谷 加津美

日時：平成 30 年（2018 年） 5 月 31 日（木）午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 00 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：渋谷加津美

講義名：(SH14) ¹「日本開発工学会 研究発表大会の発表内容について」

講義資料：「保守市場におけるイノベーション装置の市場創出モデル」予稿案

講義内容

1. 概要

第 14 回目（SH14）の講義（研修）を行った。内容は、以下の通り。

第 1 回研究発表会テーマ「保守市場におけるイノベーション装置の市場創出モデル」の予稿原稿の確認と「キャズム」について学んだ。

2. 研究内容

（1）研究会発表テーマについて

発表セッションを「ビジネスイノベーションと科学技術」として「保守市場におけるイノベーション装置の市場創生モデル」として報告する。

本報告の概要を、放送音響機器市場の特徴を示した上で、課題となっている「修理・保守や運用の効率化」をどのように対策してきたのかを再度整理することとなった。

新規開発での導入は、顧客とメーカーの双方にリスクがあったが、リスクをとってでも次世代機が必要との熱い思いのあるイノベーター役の顧客との出会いがあり、共同開発を進めることで、実績作りができた。この成功事例をどのような戦略で進めたのか、具体的に示すことが必要である。

（2）市場創生について

Step1：開発コンセプトの整理、Step2：顧客との共同開発、Step3：将来への対応、Step4：実績作りと水平展開の段階を得て実現した市場創生を具体的に記述するよう指導を受けた。

スーパーハイビジョン用の高臨場感音響システムの音響機器として、国産機器として最初に採用されるに至った経緯および、その先の新たな市場に対応する戦略を示すことの必要性を学んだ。本日の指導内容を再整理して報告することとなった。

（3）その他

特になし。

3. 次回までの宿題

14 回の講義を終えて、発表大会の予稿原稿を完成させ課題を整理して報告する。

予稿原稿提出日：6 月 7 日（木）

4. 次回日程

（1）次回日程 6 月 24 日（日）日本開発工業会研究発表大会後に決定する。

（2）参考資料

研究の参考資料として、下記を選定した。

『キャズム Ver2』ジェフリー・ムーア著

以上

¹（注）SH01：SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。